

東部

春日

市島

ふくしのおたより

No.4

R6.7月

丹波市社会福祉協議会 ふくサポ 080-8546-8012

東部支所 74-0477 市島分室 85-0571

梅雨が明け、暑い日が続きますね。

夏休みも始まり、地域では色々な行事が計画されているようです。社協では、どの世代でも楽しめるレクリエーション遊具の貸出しを行っております。ぜひ地域の行事にご活用ください！

これから夏本番です。体調に気をつけて、無理せずお過ごしください。

ふくし ってなんだろう？

春日部小学校・大路小学校
竹山小学校

社協では、小中学校を対象に、福祉学習の支援を行っています。

各小学校からご依頼をいただき、高齢者疑似体験や車いす体験、アイマスク・白杖体験などを通じて「ふくし」について考える授業を実施しました。

「車椅子に乗ると、坂道や段差が大きく感じた」「声をかけてくれると安心した」「おじいちゃんの大変さが分かった」など、児童の皆さんから感想をいただきました。体験して相手の気持ちが分かることも多くありますね。



車いす体験



老人クラブとの交流



高齢者疑似体験



アイマスク・
白杖体験

社協で開催した養成講座を受講していただいた、福祉学習サポーターの方も体験のお手伝いをしてくださいました！

いくつになっても 自分らしく暮らせる地域を目指して

私たちは誰でも、年を重ねるごとに、今まで出来ていたことができにくくなったり、日常生活のちょっとした困りごとが増えていきます。社協では、地域の福祉課題を「自分ごと」として考え、住民主体で話し合う場、支えあい推進会議を支援しています。国領地区では令和5年度から、船城地区では令和6年度から支えあい推進会議が立ち上がり、話し合いが進められています。



船城地区支えあい推進会議



国領地区支えあい推進会議

自分のこととして考える

～竹田地区支えあい推進会議～

認知症について正しい理解とリアルな「自分ごと」として考えようと、東部地域包括支援センターを講師に学習会を行いました。丹波市の認知症啓発DVD「～私は認知症になっても住みなれたこのまちでくらしたい～」を見て、質問や感想がたくさん出ました。



「もしかしてあの時もそうだったのでは」という気づきの意見も出ました。

人と出会い、いきいきと！

～美和地区自治振興会～

自治振興会の主催で、「いきいき美和の会(お昼のつどい)」が開催され、会食とレクリエーションで楽しめました。レクリエーション講師の吉積洋子さんは85歳！いきいきと過ごす秘訣は、「くよくよせず、人と出会って話をする事」だそうです。笑顔いっぱい姿に「私らより年上やわあ。頑張らんとあかんねえ」と元気をいただきました。



楽しい余興に盛り上がる会場